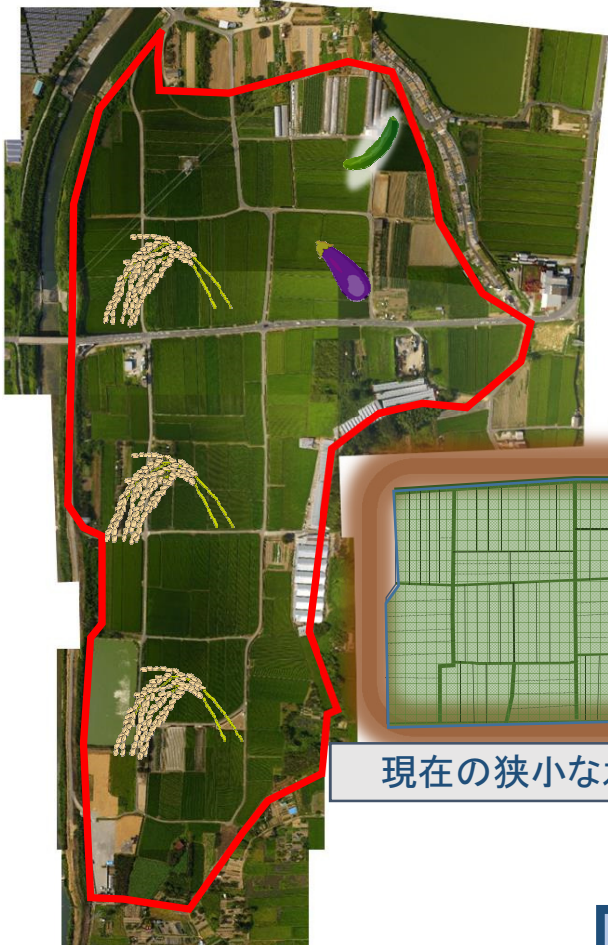


特定農業振興ゾーン 広陵町百済川向地区(21.8ha)

現在の担い手の耕作状況



現在の狭小な水田

- ・担い手がナス、キュウリ等の野菜を作付け
- ・兼業農家が水稻栽培で農地を維持管理

将来の農地活用



整備後のイメージ

ナスの産地復活と集落営農

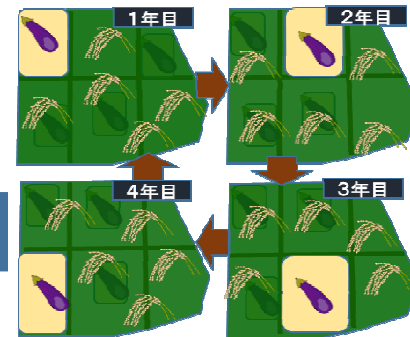
- ・新たな高収益作物(ナス)への転換
- ・集落営農の組織化
- ・ほ場整備(大区画化)

施設園芸中心
【現在の担い手】

ほ場整備により大区画化

事業計画作成
土地調査
事業効果検討
事業参加者合意形成
ほ場整備実施

ナス・水稻の土地活用イメージ
(ブロックローテーション)



百済集落営農組合設立
地区内外からナス栽培者誘致
ほ場整備の進捗と並行して
取り組む